

ペットの災害対策

～みんなもこれで安心だワン～



静岡市動物指導センター

葵・駿河区担当 〒421-1222 静岡市葵区産女 953 番地
清水区担当 〒424-8701 静岡市清水区旭町 6 番 8 号

☎ 054-278-6409
☎ 054-354-2403

はじめに

東日本大震災、熊本震災など、近年日本では大地震がたびたび起こり、大きな被害が出ています。私たちが住む静岡市でも、これから30年以内に南海トラフで地震が発生する確率は高いと考えられています。

(参考)

政府地震調査研究推進本部によると30年以内に南海トラフで地震が発生する可能性は70%～80%程度(2018年1月1日現在) このような大規模な地震災害が発生した時には、3つの対応方法に分けて、順に対応していくことになります。

- 対応① 自助：自分で自分の身を守る
- 対応② 共助：地域や地区単位で、お互いに助け合う
- 対応③ 公助：国・県や市、消防、警察など行政機関からの支援

この3つのうち、もっとも大事なものは、**自助**です。

災害の直後は、誰もが被災者であり、自分の身を守ることしかできません。また、共助、公助に移っていくまでしばらくの間は、自助のみで乗り切ることになります。

もしあなたが今ペットを飼われていて、災害について考えたとき、Aさん家族のようにきっといろいろな疑問が出てくると思います。



このパンフレットには、すべてのペットの飼い主さんのお役に立つ情報を詰め込んでいます。ぜひ、ご一読ください。





災害が起こる前の備え

住まいの防災対策

飼い主さんの安全がまず第一です。

家具を倒れないよう固定したり、窓ガラスが飛び散らないよう飛散防止シート等を貼るなど、ご家庭の安全を確保した後に、ペットの家庭内での安全を確認しましょう。

①室内飼いの場合



②屋外で飼っている場合



③留守中に被災した時のために



防災対策は
普段からの備えが
最も大切です。



- ・水は何ヶ所も置いておき、こぼれない工夫をしましょう。
- ・自動給餌器を置いておくと、いざという時に役に立つかもしれません。

飼い主さんがわかるように



突然の災害では動物がパニックになり、外へ飛び出してしまった例が多数報告されています。

すぐに飼い主がわかるよう、室内飼いで屋外飼いで、鑑札、狂犬病注射済票をつけましょう。可能なら右のようなものを、全部つけておくのがベストです。

- 犬の鑑札、狂犬病注射済票（法律で装着が義務づけられています）
- 迷子札（鳥なら足環）
- マイクロチップ
- 首輪に油性ペンで連絡先を記入



マイクロチップってなに？

注射で背中などに入れる小さなICチップです。このICチップを専用の機械で読み込むと番号が表示され、その番号を管理する団体に問い合わせると、飼い主さんの名前や住所が分かるようになっています。



病気予防と健康管理

突然の災害は、人だけでなく動物にも大きなストレスがかかり、体調を崩すことも多くなります。普段から病気予防を行い、健康管理も飼い主さんができるよう慣れておきましょう。

病気予防

1. 狂犬病予防接種
2. 混合ワクチン接種
3. フィラリア予防
4. 外部寄生虫予防（ノミ、ダニなど）
5. 内部寄生虫予防（コクジウム、回虫など）

健康管理

1. ブラッシング
2. シャンプー
3. 爪切り
4. 歯磨き
5. 耳そうじなど

動物のための備蓄品の用意

災害にそなえて、ペットに必要なものを準備しましょう。

自宅で避難生活をする場合は、フードや水はいつ手に入るかわかりませんし、避難所では人に対する物資は準備されていても、動物に関する物資はありません。

動物に対する備えは飼い主さんの責任になります。

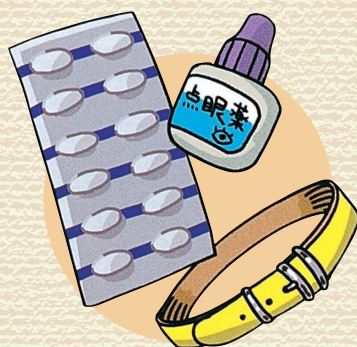
少なくとも7日分、理想的には30日分用意しましょう。

持ち出し品には優先順位をつけ、優先度の高いものはすぐに持ち出せるようにしましょう。

下のチェックリストで持ちものをチェックしてみましょう。

優先順位 1位 命や健康にかかわるもの

- 療法食、薬（かかりつけの獣医さんと相談しましょう）
- ペットフード、水（水は1日につき、体重1キロあたり50ml、例として、10キロなら1日あたり500ml必要など）
- リードや首輪の予備、食器
- ガムテープ（ケージの補修等）



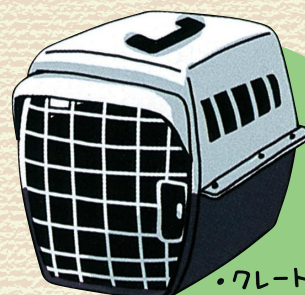
優先順位 2位 飼い主や動物の情報

- 愛犬手帳
（飼い主の連絡先、動物の写真、ワクチン接種などの予防記録や健康状況、かかりつけの動物病院がわかるもの）
*携帯電話のペットと一緒に写っている写真も便利です！



優先順位 3位 ペット用品

- ペットシーツやうんち袋などトイレ用品
- タオル、ブラシ、洋服や靴下
- 保冷と保温ができるもの（シート、毛布など）
- おもちゃ
- 洗濯ネット、キャリーバックやクレート
（ペットを運ぶ物）

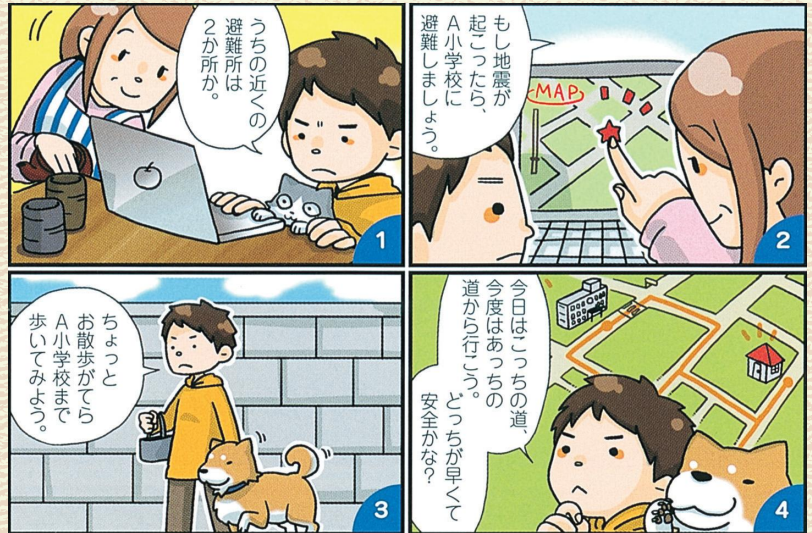


持ち出し品は、家の出口など取りやすい場所に何ヶ所か用意しましょう。

地域の情報収集と避難経路の確認

お住まいの地域の静岡市防災情報マップを確認してみましょう。

詳しい情報は、静岡市危機管理総室ホームページに記載されています。



ご家族での話し合い

災害が起こったときの集合場所や連絡手段などはどうするか、非常用持ち出しの荷物はどこに置いておくか、ペットをどうするかなど、家族で話し合っておきましょう。



ご近所、飼い主仲間との連携

普段からご近所の方々と良好な関係を築けるよう、コミュニケーションや飼養マナーに配慮しましょう。





2 災害が発生したとき

まずは飼い主さんの身の安全が第一

ご家族の安否確認や、火やガスのもと栓をしめる、電気のブレーカーを落とす、火災があれば消火するなど、2次被害のもとを断ちましょう。

ペットの安全を確保

突如の災害では、動物もパニックになるので、不用意に手を出して咬まれないように気をつけてください。

外へ避難する必要がある場合は、動物を落ち着かせたあとに、犬は必ずリードをつけ、猫はケージに入れましょう。飛び出してしまうことがないように気をつけてください。

落ち着いて避難へ

避難する際には、犬は首輪が緩んでないか、きちんとリードがついているか、猫の場合はキャリーバッグに入れ、ドアが開かないか確認して（必要ならガムテープで固定する）避難しましょう。



同行避難

ペットと共に避難所へ避難することを同行避難といいます。

過去の災害では、ペットを家に残して避難した後に家に戻れなくなり、ペットが亡くなってしまふ、家から脱走し行方不明になるといった事例がありました。

避難する場合はペットと一緒に避難することが原則です。しかし、避難所の運営は自治会が行うため、同行避難に関して、お住まいの自治会（町内会）等に避難訓練の時などにお尋ねください。

自宅や親戚の家など、生活できる場所がある方は、避難所へ行く必要はありません（危機管理総室確認）。避難所で生活する方は、生活の場所を失った方になります。

一方で、避難所生活を想像してみてください。

避難する建物は危険がないか確認ができないうちは入れませんし、プライバシーのない、他の方に気遣う生活が、自宅が確保できるまで長時間続きます。人もペットもストレスを感じますし、体調を崩しやすくなります。みんな、自宅がなにより安心できる場所です。避難所での生活を送らずにすむよう、自宅の防災対策を今一度見直していただくことが大切です。

3

避難所や仮設住宅での注意点

● 周りの人への配慮

避難所は動物が好きな人、嫌いな人、動物アレルギーを持つ人、動物に不用意に手を出しかねない幼い子供など、いろいろな人が一緒に暮らす場所です。

吠えてうるさい、咬まれた、毛が飛んで不衛生などといったことが原因でトラブルになることもあります。

避難所や仮設住宅でのチェックポイント

- 「飼い主グループ」をつくるなどして、飼い主同士で協力しましょう
- ペットフードなどの支援物資の配布など、情報を共有しましょう
- 災害ボランティアによる支援を活用しましょう
- 動物が飼えるエリアでも、吠え声や排泄物の処理など周囲への気配りを忘れないようにしましょう

● 動物の健康管理

災害時は人も動物も多大なストレスを感じますし、体調を崩したり病気が発生しやすくなります。動物の排泄は決まったところでさせ、速やかに処理し、衛生面に注意しましょう。

体調に気を配り、不安を取り除くよう心がけましょう。



車中避難ではエコノミークラス症候群や熱中症などに注意！！

自家用車の車内のように狭い空間でじっとしているとエコノミークラス症候群になる危険性があります。定期的に車外に出て運動したり、水分をこまめにとって血の巡りを良くするように心がけましょう。また、動物も人も換気や水分補給を十分に行い、熱中症にも注意しましょう！（危機管理総室確認）

🍎 発災時の動物救護センター

静岡市の動物救護センターの候補地は右の3ヶ所です。(発災時、このうちの1ヶ所に設置。)動物救護センターは、発災時に逃走した犬猫や、飼い主と避難生活できない犬や猫を保護収容する施設になります。

＜候補地＞

- ① 静岡市動物指導センター
- ② 動物指導センター 北矢部倉庫
- ③ 有度山総合公園運動施設

🐾 避難所のペット飼育管理ガイドライン

災害時の避難所におけるペットの受け入れと飼育管理を円滑に行うためのポイントが、「避難所のペット飼育管理ガイドライン」に分かりやすくまとめられて、静岡県衛生課のホームページに掲載されています。このガイドラインの作成検討会には、静岡市も参加しています。

静岡県 避難所のペット飼育管理ガイドライン | 検索

